

平成30年度第1回市川市消防委員会会議録

井橋主幹（司会） 本日は、お忙しいところお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻となりましたので、始めさせていただきます。

最初に、会議に入ります前に資料の確認をさせていただきます。

資料といたしまして、消防委員会次第、委員名簿、委員会資料となっております。配布資料に過不足等はございませんでしょうか。

それでは、ただいまから、平成30年度第1回市川市消防委員会を開会いたします。

本日のご出席は、上條消防委員長以下14名でございます。はじめに、上條委員長からご挨拶をお願いいたします。

上條委員長 本日は平成30年度の第1回消防委員会に、大変厳しい暑さの中、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

7月に入りましてから、連日猛暑日が続いて、自分の体調管理には大変苦慮しているところでございます。

また、西日本におきましては、集中豪雨が続き大変な被害が発生しております。

短時間にあれだけの雨が降り続ければ、我が市川市でも、真間川が氾濫し、急傾斜地は崖崩れが起き、甚大なる被害が出るんじゃないかと心配をしております。

いつ起こるか分からない自然災害に対しまして、日頃の準備が大切と思われまます。

消防委員会としましても、市川市の消防行政がスムーズに実行できますように、委員の皆様と協議をしながら協力していきたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げまして、ご挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございます。

井橋主幹（司会） ありがとうございます。

続きまして、本住消防局長から、ご挨拶を申し上げます。

本住消防局長

消防局長の本住と申します。

私事ですが、この4月1日付で、消防局長を拝命させていただきました。引き続きよろしくお願いいいたします。

また、本日は大変お忙しい中、また、非常にお暑い中、この平成30年度第1回市川市消防委員会の開催にあたり、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

また、平素より、上條委員長様をはじめ、消防委員の皆様方には、消防局に対しまして、特段のご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この場をお借りしまして、一言お礼を申し上げます。

只今、上條委員長の方からもお話がありましたとおり、連日、全国的にこのような猛暑が続いております。

昨日ですか、熊谷市では41.1℃という記録的な暑さを記録しまして、また、気象庁の予報官の方も、これは災害に認定と言うような認識をされておりますとおり、非常に暑い日が続いております。

市川市におきましても、熱中症の救急搬送が、非常にこの先週あたりから、増えてきておりまして、昨日現在で121名の方を搬送しております。この数字は昨年同時期と比べますと、ほぼ倍の数字になっております。

まあこういったこともありますので、引き続き皆様方の前に飲み物をご用意させていただいておりますので、水分を取りながら会議の方を進行させていただきたいと思っております。

併せて、西日本を襲った7月の豪雨災害、こちらでは、219名という尊い命が奪われる大災害となりました。

各地に大きな爪痕を残した災害となっております。

幸いにしても、市川市においてはこういった災害が今のところ発生しておりませんが、このような自然災害というのは、いつ、どこで、どのように発生するか分かりません。

そういうこともございますので、市川市としまして、消防局としましては、引き続き、消防体制の強化を図りつつ、市川市の安全、安心の向上に努めてまいりますので、皆様方におかれましては、今後とも深いご理解と、変わらぬご協力を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

なお、本日の消防委員会でございますが、議題が1件、報告案件が4件、それからその他として1件がございますので、ご審議の程、どうぞよろしくお願いいいたします。

井橋主幹（司会） ありがとうございます。

それでは、ここで、本年度第1回目の委員会であり、新たに委員に就任された方もいらっしゃいますので、全委員の皆様をご紹介させていただきます。

はじめに、先ほどご挨拶をいただきました、委員長で、

市川市消防協力会副会長の	上條 憲司 様
次に市議会議員の	かいつ 勉 様
同じく市議会議員の	佐藤 義一 様
同じく市議会議員の	松葉 雅浩 様
同じく市議会議員の	加藤 武央 様
同じく市議会議員の	越川 雅史 様
千葉県水道局市川水道事務所長の	鈴木 正巳 様
市川警察署長の	山田 和幸 様
行徳警察署長の	田中 正人 様
東京電力パワーグリッド株式会社 京葉支社長の	杉山 寛克 様
J X T G エネルギー株式会社 市川油槽所長の	林 英明 様
市川市消防団長の	高橋 廣孝 様
市川市婦人消防クラブ会長の	安藤 千枝 様
京葉瓦斯株式会社 緊急保安部長の	江口 仁 様

以上でございます。

なお、

株式会社NTT東日本 南関東
千葉事業部千葉西支店長の 安藤 尚友 様

につきましては、公務のため欠席となっております。

続きまして、本日出席しております消防局職員を紹介させていただきます。

消防局長は先ほどご挨拶申し上げましたので、消防局次長からお願いいたします。

（自己紹介が行われた）

井橋主幹（司会） それでは、審議に入りたいと存じますが、市川市の各種審議会については、「市川市審議会等の会議の公開に関する指

井橋主幹（司会） 針」に基づき、原則公開することとなっております。
本委員会についてもこの指針を適用することとしてよろしいでしょうか。

（承認の確認）

井橋主幹（司会） 賛成者全員でありますので、会議公開の指針を適用することとさせていただきます。

それでは、議題審議に入りたいと存じます。

市川市消防委員会条例第6条第1項の規定に基づき、消防委員長に議長をお願いしたいと存じます。

上條委員長よろしく願いいたします。

上條議長 ただいま、ご指名をいただきました上條でございます。座らせていただいて進行をしたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

それでは、会議次第に従いまして順次進めさせていただきます。

なお、ご質問につきましては事務局からの説明後をお願いしたいと思いますので、よろしくお願い致します。

はじめに、議題「副委員長の選任について」を議題といたします。

事務局からご説明をお願いいたします。

浮谷消防総務 はい、議長。消防総務課長です。

課長 議題 副委員長の選任について、ご説明いたします。

はじめに、市川市消防委員会の副委員長は、市川市消防委員会条例第5条の規定に基づき、委員の中から互選することとされております。

このような中、平成29年2月に開催いたしました平成28年度第2回市川市消防委員会の席上において、学識経験者である京葉瓦斯株式会社の江口様が互選され、副委員長を務めておりましたが、本年の3月31日を以って江口様の委員任期が満了となったことから、現在、副委員長が不在になっております。

つきましては、市川市消防委員会条例第5条に基づき、副

浮谷消防総務
課長

委員長の選任についてお諮りするものであります。
ご審議の程、よろしく願いいたします。

上條議長

はい、只今事務局から説明がございましたが、何かご質問
はございませんでしょうか。

(質問等なし)

上條議長

ご意見が無いようでございますので、私の方から少しお話を
させていただきます。

副委員長は学識経験者の中から選出されているという経緯
もありますので、前副委員長の江口委員に引き続きお願いし
たいと思いますが如何でございましょうか。

(異議なし)

上條議長

はい。ありがとうございます。

ご了承いただきまして誠にありがとうございます。

それでは江口委員に副委員長をお願いしたいと思います。
江口副委員長ご挨拶をお願いします。

江口副委員長

只今、副委員長に選任いただきました、京葉瓦斯緊急保安
部の江口と申します。

再任ということですので、引き続きよろしくお願ひしたい
と思います。

上條議長

はい、ありがとうございます。

(江口委員 副委員長席へ移動)

上條議長

はい。それでは、つぎに移ります。

報告1「消防吏員採用説明会の実施について」事務局から
説明をお願いいたします。

浮谷消防総務
課長

はい議長。消防総務課長です。

報告1「消防吏員採用説明会の実施について」ご説明いた
します。

浮谷消防総務
課長

今年度より新たな試みとして、消防吏員採用試験に先立ち、市川市消防局を多くの方にご案内いただき、また、消防業務に興味を持っていただくことにより、これまで以上の受験者を集め、より優秀な人材を確保することを目的として、消防吏員説明会を実施いたしました。

開催日につきましては、平成30年6月17日、日曜日の10時から12時、消防局4階会議室及び東消防署車庫において実施いたしました。

広報いちかわ及び消防局ホームページにより広報し、40名の事前申し込みがあり、当日は35名に参加いただきました。

説明会では、市川市及び消防局の紹介DVDの上映や消防業務についての説明、車両の見学、今年度の採用試験の案内を行い、当日参加された方のアンケート結果から、内容、実施時期共に概ね満足いただいていたと感じております。

また、本年は例年より約1ヵ月早く「受験案内」の配布を開始しており、受験申込は7月17日から8月8日の間の受付となっております。

なお「平成30年度市川市消防局消防吏員採用試験」につきましては、平成30年9月15日土曜日に体力測定、16日日曜日に筆記試験、22日土曜日に面接試験の実施予定となっております。

今後は、今回の実施結果を踏まえ、より優秀な人材を採用できるよう、様々な方策を検討してまいりたいと考えております。

以上でございます。

上條議長

はい。ありがとうございます。

ただいま、事務局から説明がございましたが、この件につきまして何かご質問がございましたら、よろしくお願いたします。

加藤委員

説明ありがとうございます。

今の消防に優秀な職員は絶対に採ってもらわなければならないと思っているわけですが、この中で、誰でも、人数、採用人数というのがここに載っていないんですけど、35名の参加人数、申し込みは40名で、来年度は何人を予

加藤委員 定しているんですか。
まあ、男女別で分かればその確認もしておきたいと思いま
す。

浮谷消防総務
課長 はい。消防総務課長です。
只今の質問にお答えします。
男女の別というのはありませんで、来年度は10名程度を
予定しております。
以上でございます。

加藤委員 ありがとうございます。
この中でね、何度も何度もお願いしているのは、出来れば、
出来るだけ市川市内ということは、出来ないというのは十分に
理解しているんですけど、採用の枠の中には市内が殆どで、
採っていただけるには、今のこれだけの情勢の中でですね、
消防局のいろいろやってくれて、急に集合をかけたか、夜中
にかけて、1時間半で来ます、2時間で来ますとやっている
んですけど、本来は地元で何かあったら地元に住てもらわな
きゃならないと思うんですよ。自分で生活をしっかり築いて
ますから。ある程度落ち着いたら、こちら市川に来てもいい
んですよ、ということなんですけど。今の市川市の職員もそ
うなんですけど、職員の年齢体制が上なんですよ、40いく
つとか、年配の上の方たちが集まっても、殆ど体力的に実際
に動けるのかな、ということもあるんで、出来れば、ここ何
年かは市内の申込者を優先的に入れていただければ、何かあ
っても集合をかけるとすぐ来ると、災害の時に来ると思うん
ですけど、今10名ということなんですけど、そういうこと
をひとつ、消防局長の頭の方に入れておいていただければ、
採用には必ず地方から入れても、なかなか集まりませんよこ
れ、実際の状況としては。ですから、その何割かは市内にし
ていただけないかなということを確認だけしていただ
きたいと思います。

本住消防局長 はい議長。消防局長です。
只今の加藤委員のお話もありましたように、総務課の方で
はですね、市内の県立高校、私立高校全て回らせていただ
いて、進路担当の方に直接受験案内をお渡して、採用について

越川委員 と思います。

浮谷消防総務課長 はい、議長。消防総務課長です。

課長 只今の質問ですけれども、面接資料の中に受験者の名簿等がありまして、そここのところにですね、事前に分かっている関係者だったりとかですね、分かっている方がいたら入ってる事もありますし、知り合いとかですね、その本人が申し出なかったら分からないという場合もありますので、その辺の部分、必ずしも、資料には入ってるというふうにはなっていないので、というところでは。

申し訳ありません。以上です。

佐藤委員 不正じゃなければいいんだよ、不正じゃなければね。

消防局長 すみません。今の越川委員の質問に補足させていただきますと、面接官もどういふ方か分からないので、志願書の写しを見ながら、その方の例えば特技とか、これまで学生時代にやってきた内容を確認しながら質問をして、その受け答えについても、採点基準とさせていただきながら進めさせていただいております。

関係者とかという事は面接の中で、ご本人がいう事がございますので、特に我々が知らなくても、本人が面接の際にこれこれこういう知り合いがいて、消防を志望したというような話をされますので、そういったことも面接の中では把握できるようにはなってまいります。

越川委員 あまり難しいことを聞くつもりでは無かったんですが、よく我々のところに、毎年受けるんだけど合格できないとかで、コネがないと入れないとか、まあいろいろなことを聞かれるものでして、こういう公務員の採用ですから、客観性、公平公正で、公平公正にやっていますという担保が必要かと思いません。

その意味でよく企業では覆面という事で、どういう人が来るのか分からないとか、あるいは近い関係の人がいたら、除席になって違う人が面接を担当するとか、いろんな工夫があるんで、消防の中でもそういう公平公正さを市民に対して説明できるようなあり方をご検討していただければと思いま

越川委員

す。
以上です。

佐藤委員

今の越川氏のあれですけど、面接官の主観もどうしたって入ってくると私は思いますよ。

だからね、今テレビで偉い人が、ああいう不正ね、医学部の、公務員の、盾にしてね、本来であれば不合格だっけ、補欠だったのを合格にしたのかな、何かね今日の新聞にあった。ああいうのは許しがたいですよ。私は市川市がきちんとやられると信頼していますよ。

で、質問ね。10名採るところが35名。一見3.5倍だね、非常にまあまあ妥当かなと思うんですが、今実はですね、ここにいられる皆さんは幹部ですからね、今急になって警察だって大変なんですよ人採るの。それでね、自分も京葉瓦斯なんですけどね、若いときですけどね、受かってもね他のところなんかに行っちゃたりなんかしてね、市川市役所は実はすごく良い人が集まっているんですよ。すごく引き留めておくのに相当苦勞しているって話を聞いているんです、民間でも役所でもね。私は分からないですが、消防署も市川消防署もね、3.5倍だから、そこそこ良い人が集まるように見えますが、実は苦勞してるんじゃないかと思うんですよ。この2、3年でね様変わり、ですからそういうことを考えると、過去と比較してここに35人集まって10人採るっていうんですけども、質、とにかく質、質の問題がありますよ。人が集まればいいってもんじゃないですね。そういう点で、傾向、今の、今年の総務では、とんでもなく良い人が35人集まりましたよっていうのか、おっしゃるとおり、大変苦慮していますと、実際35人集まりましたけど。ちょっとそこら辺を教えてくださいませんか。

浮谷消防総務
課長

はい、消防総務課長です。
只今の質問にお答えします。

今の、委員のおっしゃったとおりですね、だんだん、ここ数年ですけれども、やっぱり民間の方が結構良くなってきてですね、確かに受ける人数的にはそれほど上がってないのが正直なところであります。それを鑑みまして、今回採用説明会を行ったところなんですけども、より優秀な人材を確保す

浮谷消防総務
課長

るためにですね、先ほど局長も言ったように、市内の高校ですとか大学を回ってですね、採用担当者とお話をして、なんとか消防吏員をとということですね、お願いしているところ
です。

以上でございます。

佐藤委員

はい、議長。

なるほど、今は、日本は始まって以来の求人難でね、少子高齢化で若い人達がどんどん毎年毎年減っているでしょ。東京オリンピックまでは景気が続くとは言われているけれども、少子化で若い人が減るといのは、やっぱり今後何年か続く感じがする訳ですよ。そうすると、やはり今後、若い優秀なぴちぴちした人が欲しい訳ですからね。今後やっぱり相当知恵を働かせないと良い人をみんな他に取られちゃう。今ちょっと民間に、民間企業を狙ってる話とかね。ですからね、待ってるだけじゃだめだ。今回からこういうの初めてやったのですか。ですからね、こういうことをやるとか、各地域の高校とかに PR するとかね、そうしないとね、一応35人集まっても質の問題でね、ろくでもないのが入ってきたら、これは低下するわけですからね、ぜひ努力をお願いします。

上條議長

はい、ありがとうございます。

他にご質問はございますか。

かいづ委員

はい、私勉強不足で申し訳ないんですが。今、職員は全部で何人ですか。

浮谷消防総務
課長

はい、議長。消防総務課長です。

今消防職員は512名おります。

以上です。

かいづ委員

512名。理想の、消防部として、理想の人数は何人欲しいの。512名って、もっと少なくてもいいの。何名が理想の人数だと思ってるの。

佐藤委員

まず、条例の人数は何人なの。

本住消防局長 条例上は520名になっております。

かいづ委員 じゃあ8名だけ足りないんだ。

佐藤委員 理想を言ってるんだよ、理想。1,000人くらいですか。

かいづ委員 いやね、なぜ、そういうことを言うかというとな、今いろんなところですごい災害じゃない。思いもよらない土砂災害とか集中豪雨とか考えられないような災害が起きるじゃない。そしたら、消防職員が全部に出ていくじゃない。そういうことに対してだね、市川は東京湾に囲まれ、江戸川にも位置して、いざそういうね、考えられない、最近は竜巻の事なんかもニュースでやっていますね。考えられない事故が起きるわけ。だったらそういうことに対して、ちゃんとした滞りない準備ができてるのかなど。地方で、今いろんなところで、広島とかあっちの方で大変で、ボランティアの人がすごく沢山行ってるわね。そういうことも考えて、だから人数がね、そういうことに対する職員の人数で対処できるのかなど。

ぜひ、そういうことをね、今後ね考えて、やっぱり市民が安心して暮らせるような市川市の街を考えてくださいよ。答弁は結構です。

佐藤委員 理想は700人くらいって言っといたら。今の人数で満足するんじゃないかってね。

上條議長 他にご質問は、ございませんですね。
ありがとうございます。
それでは採用にあたりましては、公平にお願いしたいという、委員の皆様の意見でございますので、よろしくお願いたします。
それではつぎに移ります。
報告2「消防施設整備事業の進捗について」事務局からお願いたします。

吉見企画管理課長 はい、議長。企画管理課長です。
それでは、「消防施設整備事業の進捗について」ご説明いたします。

吉見企画管理課
課長

恐れ入ります。モニターをご覧ください。

はじめに、「市川市東消防署高谷出張所新築工事」は、高谷出張所の機能を維持したままの「いながら施工」での新築工事を昨年10月に開始いたしました。

概要につきましては、既存の施設の消防資機材倉庫及び資機材格納庫、バイク置場兼格納庫の3棟と千葉県所有の泡消火薬剤40,000リットルの地下タンクを解体しまして、鉄筋コンクリート造、3階建、延べ面積850.31平方メートル、倉庫機能を備えた庁舎を建築いたします。詳細につきましては資料の6ページをご覧ください。

進捗状況でございますが、基礎工事を既に終え、7月現在で3階部分の外壁工事を行っている状況で、庁舎の完成は8月末を予定しております。事務室はフリーアドレスを採用して事務室内に必要最低限の机を配置することで、事務室の空間を有効に活用しています。

また、Ⅱ期工事としまして、新庁舎に出張所機能を移転後、既存の庁舎を解体し、植栽整備等の外構工事を行い、すべての事業が完結しますのは平成30年度末となっております。

以上が市川市東消防署高谷出張所新築工事の状況となります。

続きまして、市川市消防団第7分団車庫兼詰所新築工事は、車庫兼詰所の耐震性が図られていないことから、新築工事となったもので、概要でございますが、軽量鉄骨造平屋、延べ床面積44.91平方メートル、旧詰所とほぼ同規模ではありますが、車庫機能と詰所機能を一体化した、消防団が活動しやすい建物としております。詳細につきましては資料の7ページをご確認ください。

進捗状況でございますが、地権者、近隣住民、消防団のご理解を得られ、9月末には、施工業者を決定し平成31年3月の完成を予定しております。

以上でございます。

上條議長

はい、只今事務局の方から説明がございましたが、この件に関しまして、ご質問がございましたら、よろしく願いたします。

特にございませんですか。

(質問等なし)

上條議長

それでは、次に移ります。

報告3「第37回東葛飾支部消防操法大会の結果の報告について」事務局から説明をお願いいたします。

三橋警防課長

はい。私の方からは、6月23日土曜日の9時から市川市スポーツセンター陸上競技場で行われました、第37回東葛飾支部消防操法大会の結果について、ご説明をさせていただきます。

モニターをご覧ください。

消防操法とは、防火水槽に見立てた水槽から給水し、同時にホースを延長、火点に見立てた的を落とすまでの一連の動作を競い合うもので、その操作の的確性、指揮、規律、タイム等を審査されるものです。

この大会は、平素の消防団員の訓練の成果を発表し、消防用機械器具の操作及び実践的技術の向上と士気高揚を図り、地域防災体制の確立を期するものとともに、千葉県消防操法大会の支部代表を選考することを目的に行われました。

出場したのは、東葛飾支部の所管区域にあります市川市、船橋市、松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市、浦安市の以上9市を代表する消防団員が消防操法の演技を競い合いますが、消防操法は、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に分かれており、ポンプ車操法の部は、8チームで競い合い、小型ポンプ操法の部は、7チームで競い合いました。

市川市消防団は、ともに2位という結果であったため、7月28日土曜日、9時から千葉市中央区仁戸名にあります千葉県消防学校で開催する「第54回千葉県消防操法大会」への出場が決定いたしました。

以上です。

上條議長

ありがとうございます。

只今、事務局から説明がございましたが、この件につきましてご質問がございましたら、よろしく願いいたします。

加藤委員

大変すばらしい結果を出していただいて、まず、嬉しく思

加藤委員

うわけでございますが、今この結果報告と、もう一つ、この松ヶ丘インターを降りて、あそこに入るんですよ、あのがんセンターのところですよ。そこで大会をやって、今回小型ポンプの部の方は、全国大会に確か行けるんだと思うんですよ。ポンプ、車の方はそこで終わりですので、ですから、その辺をできればどうやって全国大会を目指せる大会まで、この17分団が行けるのかぐらいまで報告してあげた方が、結果だけやると、この東葛で終わってしまったんですよ、今度は、県大会について、県大会でナンバー2ぐらいまで行ったら、全国大会まで行けるような資格が出来るんですよ、ぐらいまで報告してやるべきでないかなと思うんですけど、その辺の点は。

以上、よろしく申し上げます。

三橋警防課長

はい、警防課長の方から説明させていただきます。

今加藤委員からありました件につきまして、補足という形で付け加えさせていただきます。今お話していただいたんですが、今年はですね、先ほど自動車ポンプの部と小型ポンプ操法の部が2つに分かれている、というようにお話しさせていただきましたが、今年委員がお話したとおりですね、今年の10月に操法の全国大会というのが、富山県の方で行われます。但しなんです、この富山県で行われます全国大会に出場できるのは、小型ポンプの部ということに今年決定しております。

これは、小型の部とポンプ車の部と、あと女性消防団の部、この3つに分かれている、輪番制ということになっておりまして、その内の今年、富山県で、小型ポンプで、今回千葉県で優勝したチーム、1チームのみが富山の全国大会に出場できるということです。かわりに言いますと、ポンプ車で1位になっても、今年の全国大会、ポンプ車については、出場できないということになります。

補足させていただきました。以上です。

加藤委員

はい、ありがとうございます。

彼氏たち、17分団も22分団も、市内の地区予選から相当家庭等いろいろ仕事を犠牲にしてここまで勝ち上がってきたのが22分団であり17分団だと思ってます。ですから消

加藤委員

防局としても、この2チームがまず県大会に行くことを褒めてあげて、さらには、残念なことに22分団はそこで優勝しても行けないですね。たまたま今年は、小型の17分団の方は優勝すれば全国大会という、来年勝っても行けないんです。

ですから、唯一この大会で頑張れるチャンスが、全国大会に行けるんですから、それぐらいの報告はしてあげるべきであるし、もしそうなった場合の支援体制等も考えなければならぬと思っておりますが、まずはその報告は消防委員の皆さん方に、このぐらい大きな大会、全国大会まで行く大会があるんですよ、くらいは教えてあげるべきではないかなと思って、今要望して、言ってくれたんで結構です。その体制は作ってあげてください。それで結構です。

上條議長

はい、ありがとうございます。

その他に、ご質問等はございますか。

はい、それでは、ご質問が無いようでございますので、次に移らせていただきます。

報告4「第47回消防救助技術関東地区指導会の結果について」事務局からご説明をお願いいたします。

三橋警防課長

はい。続きまして、私の方から7月5日金曜日に開催されました、第47回消防救助技術関東地区指導会の結果について報告させていただきます。

モニターをご覧ください。

この大会は陸上の部と水上の部に分かれており、陸上の部は東京都江東区夢の島3丁目1番1号の東京消防庁夢の島訓練場で開催され、引揚救助、ロープブリッジ救出及び障害突破の3種目の内、市川市消防局からは、5名1組で行われる引揚救助に出場しました。23チーム出場中4位の成績を収め、8月24日金曜日、京都市で開催されます、第47回全国消防救助技術大会へ出場することになりました。

水上の部は東京都江東区辰巳2丁目8番10号にあります東京辰巳国際水泳場で開催され、複合検索、基本泳法など7種目の内、市川市消防局からは、3名1組で行われる水中結索に出場し、12チーム出場中12位の結果となりました。

以上でございます。

上條議長

はい、ありがとうございます。

この件につきまして、何かご質問がございましたら、よろしくお願ひいたします。

特にご質問ございませんですか。

(質問等なし)

上條議長

はい、無いようでございますので、それでは次に移ります。

それでは、その他「消防局における今後の主な行事予定について」事務局からご説明をお願いいたします。

浮谷消防総務
課長

はい、議長、消防総務課長です。

消防局における今後の主な行事予定につきまして、ご説明させていただきます。

資料10ページをご覧ください。

はじめに、平成30年度救急広場の開催について、救急課長よりご説明いたします。

宮澤救急課長

はい。私からは、救急広場についてご説明いたします。

皆様、モニターをご覧ください。

このイベントは、市民に救急医療及び救急業務に関する知識の普及啓発を図り、応急手当の重要性と認識を高めることを目的に行う事業であります。

開催日時は平成30年9月8日、土曜日の13時から15時30分までで、ニッケコルトンプラザ内のタワーコート及びコルトンホールで行います。

開催内容ですが、各種応急手当講習のコーナーをはじめ、救急車の適切な利用方法の普及啓発コーナー、小さなお子様向けの、なりきり記念撮影コーナーなどを設けております。

これは、コルトンホール内の様子です。訓練用人形を使い心肺蘇生法やAED使用方法を学ぶコーナーでは消防職員のほか、応急手当普及員の資格を持った消防団員や婦人消防クラブ員の方にも指導をお願いしております。

また、コルトンホール内ではケガの応急手当として三角巾の取り扱いを体験していただくコーナーや急に喉に物が詰まった場合に行う気道異物除去法を体験していただくコーナーもあります。

宮澤救急課長

こちらのコーナーは、お子様を対象に防火衣やヘルメットを着用し記念撮影を行う、なりきり記念撮影コーナーです。

これは昨年のタワーコートでの開催状況です。

タワーコートでは心肺蘇生法のコーナーとともに、住宅用火災警報器設置の普及啓発コーナーや消防団及び婦人消防クラブの広報・勧誘活動など様々なコーナーを設置いたします。

こちらのコーナーは、胸骨圧迫を体験する子ども専用ブースです。今年も千葉県のマスコットキャラクターのチーバクんに、1日救急隊長として広報活動をしていただく予定です。

以上でございます。

浮谷消防総務課長

つぎに、市川市東消防署高谷出張所開所式の開催について、企画管理課長よりご説明いたします。

吉見企画管理課長

はい、企画管理課長です。

市川市東消防署高谷出張所の管轄区域は、東関東自動車道、首都高速湾岸線に加え、先日完成したばかりの東京外環自動車道の直近にあり、京葉臨海北部地区に指定されております工業地帯と、更には市川市の沿岸水域を管轄としている消防活動上重要拠点となる出張所でございます。

この出張所の完成は、市川市の消防力を大きく向上させるものであります。

つきましては、ここにおられます委員をはじめ、多くの方々に新出張所の内覧会を兼ねまして、職員の手作りでの開所式を9月29日土曜日に行う予定であります。

詳細につきましては、後日ご案内申し上げますのでどうぞよろしく願いいたします。

以上でございます。

浮谷消防総務課長

つぎに、事業所自衛消防操法大会の開催について、予防課長よりご説明いたします。

依知川予防課長

はい。私からは、事業所自衛消防操法大会についてご説明させていただきます。

モニターをご覧ください。

本大会は、市内各事業所の自衛消防体制の確立を図るために実施するもので、去年は28事業所が参加しており、今年

依知川予防課長 も多くの事業所の参加をいただけるよう準備を進めているところでございます。

開催日時でございますが、10月19日、金曜日の8時45分から概ね12時頃まで、大野消防訓練場で行います。

この操法の実施要領についてでございますが、1チームは、指揮者1名、操作員2名の合計3名で編成されております。自動火災報知設備のベル鳴動を操作開始として、指揮者と操作員が火災現場を確認し、119番通報、消火器による初期消火活動、さらに、屋内消火栓による消火活動に切り替え、前方に設置されている2つの標的を放水により落下させるもので、タイムや操作の確実性などを競う実践的な操法となります。

以上でございます。

浮谷消防総務課長 つぎに、平成30年度東京湾消防相互応援協定に基づく合同消防訓練の開催について、警防課長よりご説明いたします。

三橋警防課長 はい。私からは、10月23日火曜日に行われます、東京湾相互応援協定の基づく合同訓練についてご説明させていただきます。

モニターをご覧ください。

東京湾消防相互応援協定は、消防組織法第39条の規定に基づき、各都市の港内及びこれに関連する沿岸施設等に大規模な災害が発生した場合における消防相互応援を目的としております。

構成都市は、東京都、横浜市、川崎市、千葉市の5都市となっており、各市の消防艇保有数については、東京消防庁9艇、横浜市消防局2艇、川崎市消防局2艇、千葉市消防局1艇、市川市消防局1艇となっております。

訓練については、定期的に年に1回実施することとしており、訓練実施場所については構成5都市の持ち回りとし、平成30年度は市川市が開催地となり、10月23日火曜日に市川市本行徳2554番地の1、JXTG エネルギー株式会社で実施予定であり、訓練内容、参加隊については現在調整中であります。

以上でございます。

浮谷消防総務
課長

以上をもちまして、その他、消防局における今後の主な行事予定につきましてご説明を終わらせていただきます。

上條議長

はい、ありがとうございました。

ただいま、今後の消防局での予定につきましてご説明がございましたが、この点につきまして、何かご質問がございましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(なし。加藤委員)

上條議長

はい。特に無いようでございますので、それでは、以上で本日ご用意させていただきました議事は全て終了いたします。

その他、特に質問等はございませんですか。

(質問等なし)

はい。無いようですので、以上をもちまして議事を終了とし、議長の職を解かせていただきます。

議事の進行につきましてご協力ありがとうございました。

井橋主幹(司会)

上條委員長ありがとうございました。

また、消防委員の皆様には、長時間にわたりご審議いただき、誠にありがとうございました。

以上をもちまして、平成30年度 第1回市川市消防委員会を閉会といたします。

(消防総務課長) 消防職員・起立・礼・直れ・着席

平成30年 9月28日

消防委員長

上條 憲司 